

基安労発 0724 第 1 号  
令和 5 年 7 月 24 日

都道府県労働局労働基準部健康主務課長 殿

厚生労働省労働基準局  
安全衛生部労働衛生課長

### 令和 4 年に発生した酸素欠乏症等の労働災害発生状況について

酸素欠乏症等防止規則（昭和 47 年労働省令第 42 号）に定める酸素欠乏危険作業等において発生した酸素欠乏症又は硫化水素中毒（以下「酸素欠乏症等」という。）について、令和 4 年（2022 年）に発生した休業 4 日以上の労働災害発生状況等を別紙 1 に、また、酸素欠乏症等による災害の事例を別紙 2 に、それぞれ取りまとめたので、関係事業者等に対する指導等の参考とされたい。

なお、酸素欠乏症等防止規則における酸素欠乏危険作業とは、労働安全衛生法施行令（昭和 47 年政令第 318 号）別表第 6 に掲げる酸素欠乏危険場所における作業をいう。

## 酸素欠乏症等の労働災害発生状況

## 1 酸素欠乏症等の労働災害発生状況（1993年～2022年）

## (1) 酸素欠乏症

2022年の酸素欠乏症による労働災害は、4件（前年比1件増）であり、被災者は6人（前年比3人増）、うち死亡者は5人（前年比3人増）であった。

過去20年間（2003年～2022年）の労働災害は計120件であった。

## (2) 硫化水素中毒

2022年の硫化水素中毒による労働災害は、4件（前年比2件減）であり、被災者は5人（前年比1人減）、うち死亡者は2人（前年同数）であった。

過去20年間（2003年～2022年）の労働災害は計68件であった。

表1 酸素欠乏症の労働災害発生状況（1993年～2022年）

年	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	
酸素 欠乏症	発生件数	13	16	14	13	15	17	7	17	12	7	5	10	8	11	9
	被災者数	17	22	23	22	25	28	9	21	15	10	5	11	9	12	11
	死亡者数	8	8	14	10	8	9	3	10	7	7	3	2	4	9	5

年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
酸素 欠乏症	発生件数	6	3	2	2	6	5	1	9	11	5	6	4	10	3	4
	被災者数	8	6	3	2	7	7	1	9	13	5	7	5	12	3	6
	死亡者数	5	4	3	2	5	3	0	6	4	5	6	5	8	2	5

備考：被災者数は死亡者数を含む。

表2 硫化水素中毒の労働災害発生状況（1993年～2022年）

年	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	
硫化水素 中毒	発生件数	3	6	4	8	3	5	6	3	5	7	2	2	2	3	1
	被災者数	8	12	8	13	5	7	13	7	7	18	2	4	3	3	1
	死亡者数	7	2	1	4	0	2	6	6	1	15	0	3	0	2	0

年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
硫化水素 中毒	発生件数	3	1	1	2	3	5	4	4	2	7	5	5	6	6	4
	被災者数	3	3	1	3	4	10	6	5	3	7	10	5	9	6	5
	死亡者数	2	0	0	1	2	6	2	1	0	2	4	1	6	2	2

備考：被災者数は死亡者数を含む。

図1 酸素欠乏症の労働災害発生状況の推移（1993年～2022年）

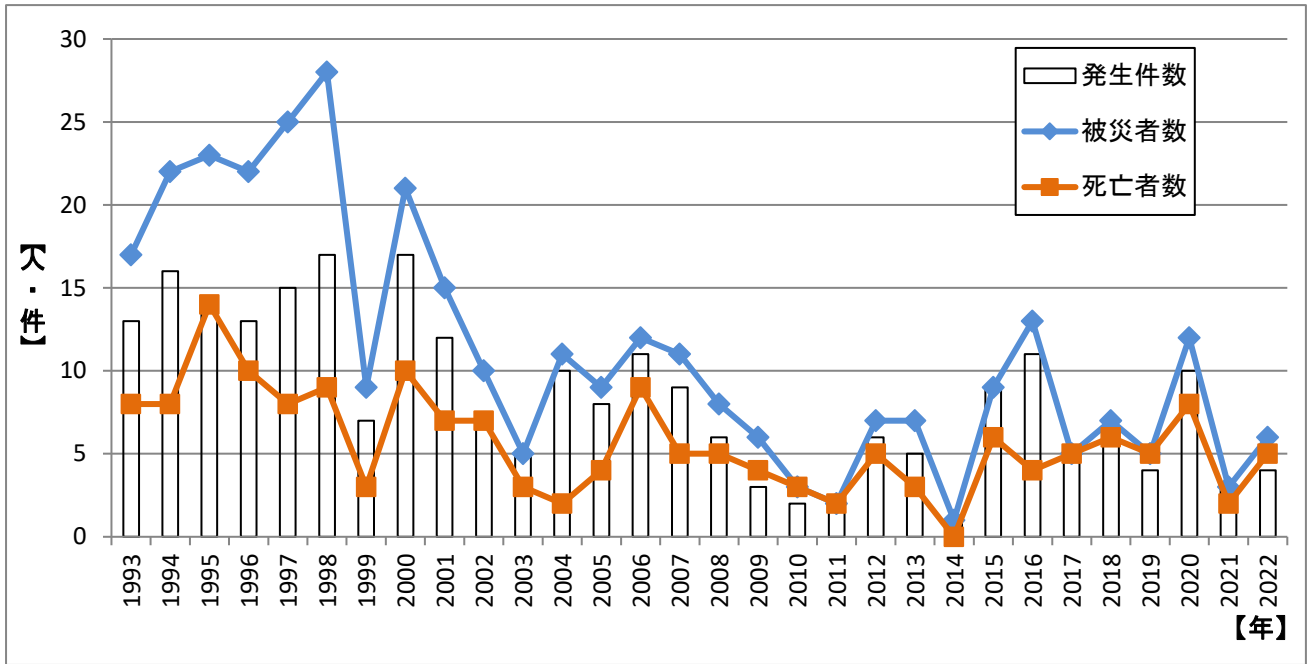
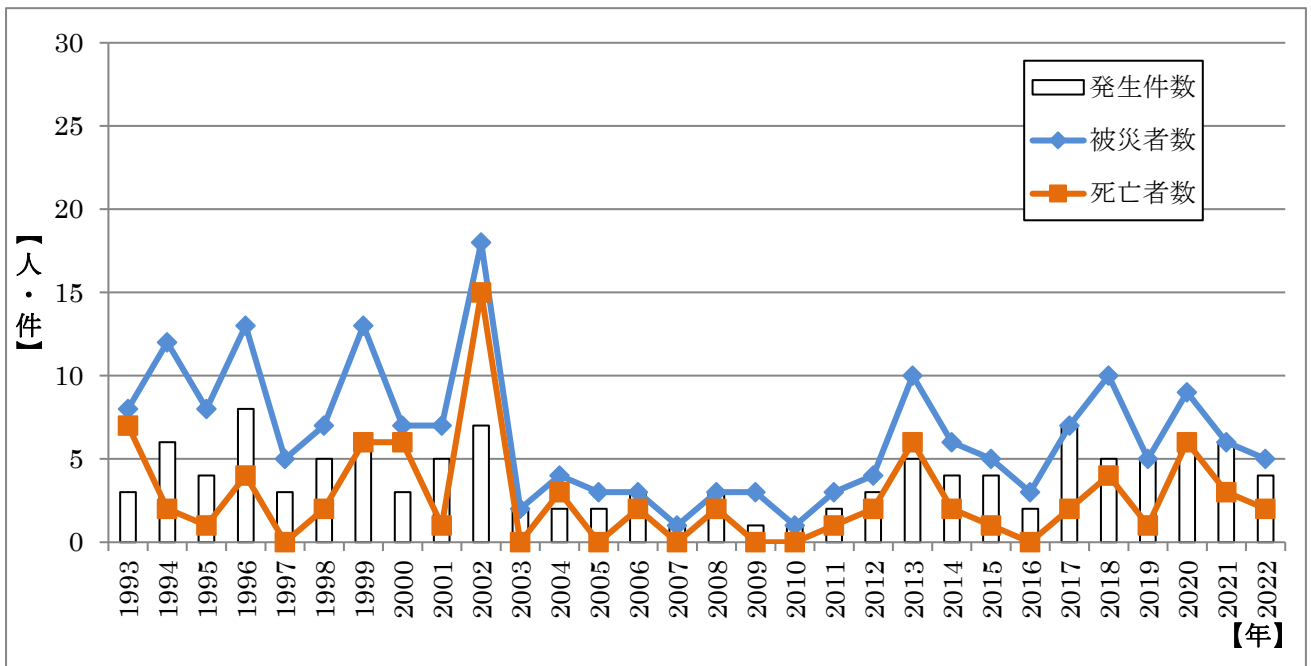


図2 硫化水素中毒の労働災害発生状況の推移（1993年～2022年）



## 2 酸素欠乏症等の業種別発生状況（2003年～2022年）

### (1) 酸素欠乏症

過去20年間の業種別発生状況をみると、製造業が最も多く、次いで建設業であり、この2業種で全体の6割以上を占めている。

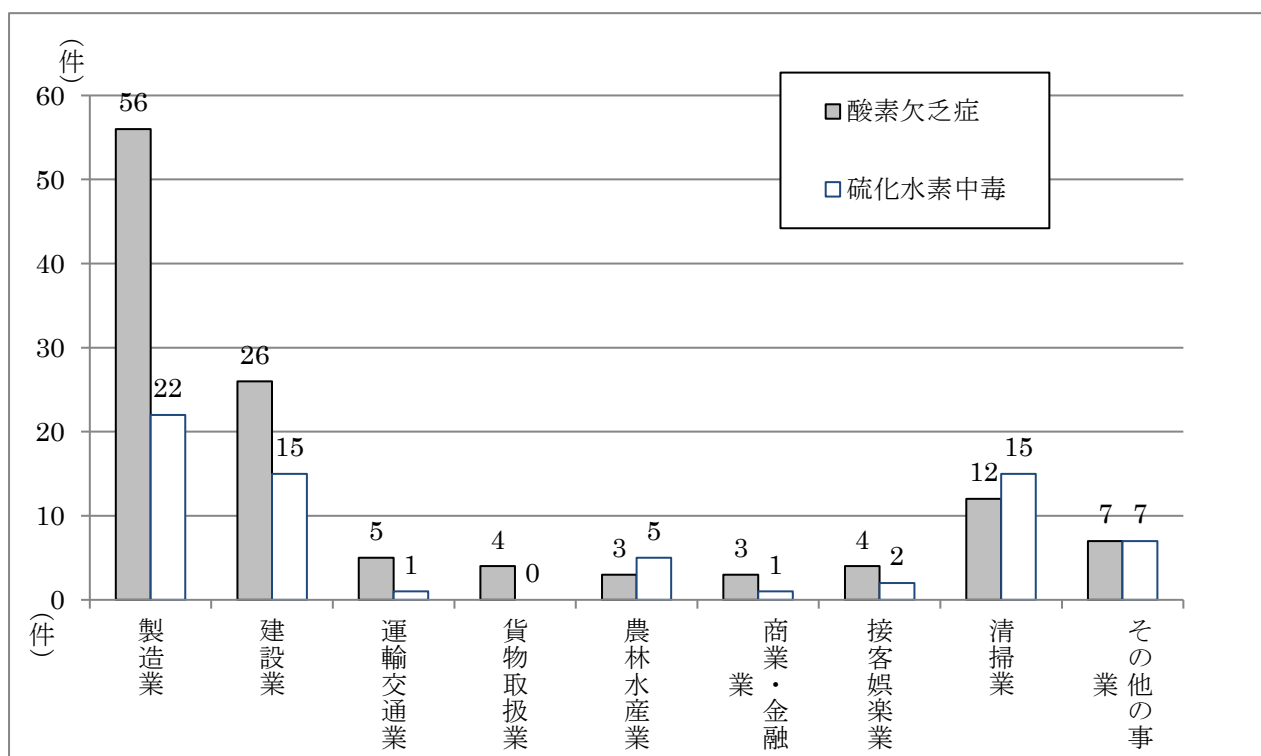
### (2) 硫化水素中毒

過去20年間の業種別発生状況をみると、製造業、清掃業、建設業が多く、この3業種で全体の7割を占めている。

表3 業種別発生状況（2003年～2022年）（件）

	製造業	建設業	運輸交通業	貨物取扱業	農林水産業	商業・金融業	接客娯楽業	清掃業	その他の事業	計
酸素欠乏症	56	26	5	4	3	3	4	12	7	120
硫化水素中毒	22	15	1	0	5	1	2	15	7	68
計	78	41	6	4	8	4	6	27	14	188

図3 業種別発生状況（2003年～2022年）



### 3 酸素欠乏症等の月別発生状況（2003年～2022年）

#### (1) 酸素欠乏症

過去20年間の月別発生状況を見ると、発生件数が多い月は7月、10月で15件である。

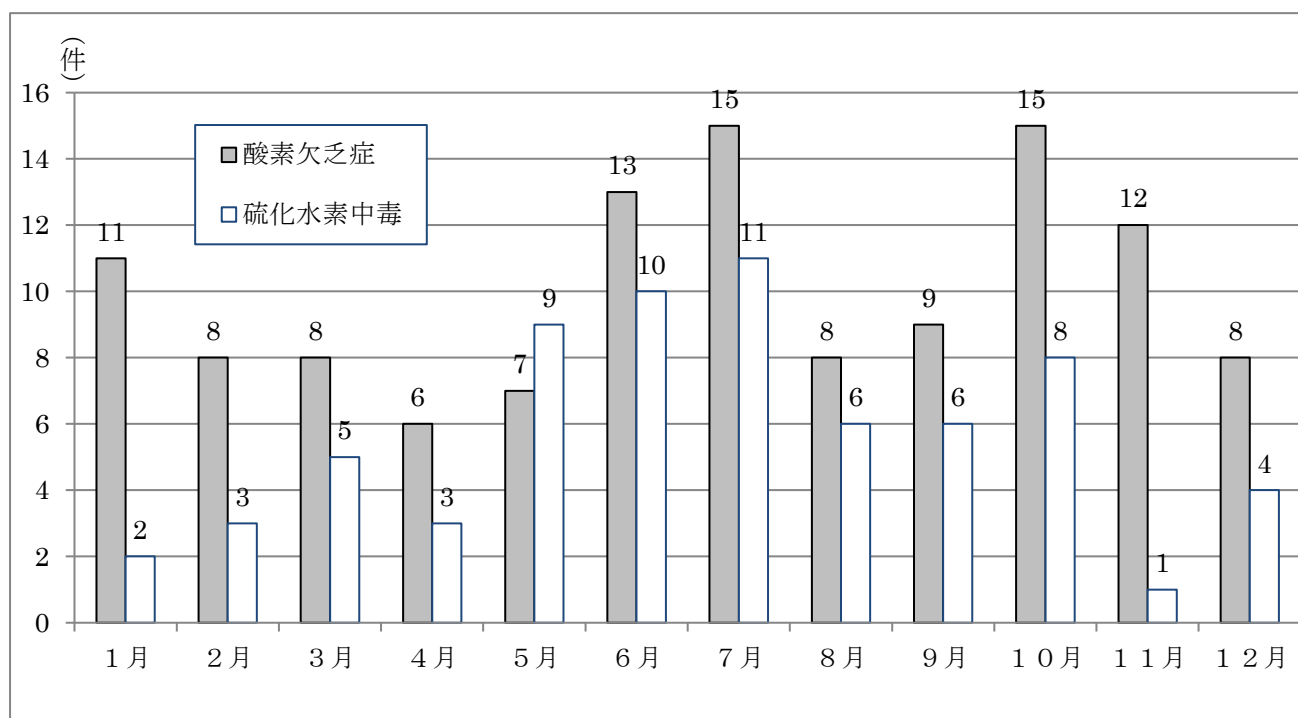
#### (2) 硫化水素中毒

過去20年間の月別発生状況を見ると、発生件数が多い月は、7月の11件、6月の10件である。

表4 月別発生状況（2003年～2022年）（件）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
酸素欠乏症	11	8	8	6	7	13	15	8	9	15	12	8	120
硫化水素中毒	2	3	5	3	9	10	11	6	6	8	1	4	68
計	13	11	13	9	16	23	26	14	15	23	13	12	188

図4 月別発生状況（2003年～2022年）



## 2022年に発生した酸素欠乏症の事例

番号	業種	発生月	被災者数(人)		発生状況
			死亡	休業	
1	金属製品製造業	1		1	金属製品の加熱処理工程の中で、設備の加熱室と冷却室の隔壁に異常が発生し開かなくなったため、バールでこじ開けたところ加熱室内の雰囲気にはばく露したことで酸素欠乏症となった。
2	建設業	1	1		建屋の8階の階段踊り場にて、機械から漏れ出ていた窒素にはばく露したことで酸素欠乏症となり、死亡した。
3	窯業	2	2		鋳型へ溶鋼ステンレスの注入準備作業を行っていたところ、延焼防止用に鋳型に被せてあった耐火ボードが落下し、それを拾おうとしたところ、鋳型に充填されたアルゴンガスにはばく露したことで酸素欠乏症となり、救出のために鋳型に入った者を含め2名が死亡した。
4	鉄鋼業	10	2		製鉄所の混炭機付近で設備の修繕作業中に、誤ってボルトを混炭機内に落としてしまった。落としたボルトを拾おうとしたところ、混炭機内に充填された窒素ガスにはばく露したことで酸素欠乏症となり、救出のために近づいた者を含め2名が死亡した。

## 備考

- ・ 「休業」は、休業4日以上のものである。

2022年に発生した硫化水素中毒の事例

番号	業種	発生月	被災者数(人)		発生状況
			死亡	休業	
1	清掃業	6	1	1	汚水槽内で清掃作業を行っていたところ、硫化水素にばく露し、1名が死亡、1名が休業したものの。
2	と畜業	7		1	豚のし尿等が流れ込むマンホール内で、底にたまった滞留物の除去作業を行っていたところ、意識を失ったところを発見され、休業したものの。
3	製造業	9	1		汚泥を貯めるための貯留槽内で倒れている状態で発見され、死亡が確認されたものの。
4	食品製造業	10		1	脱水機室内にある地下から臭気を排出するための臭気配管内の硫化水素濃度を測定していたところ、硫化水素にばく露し、休業したものの。

備考

- ・ 「休業」は、休業4日以上のものである。